

第2回長野県女性活躍推進会議

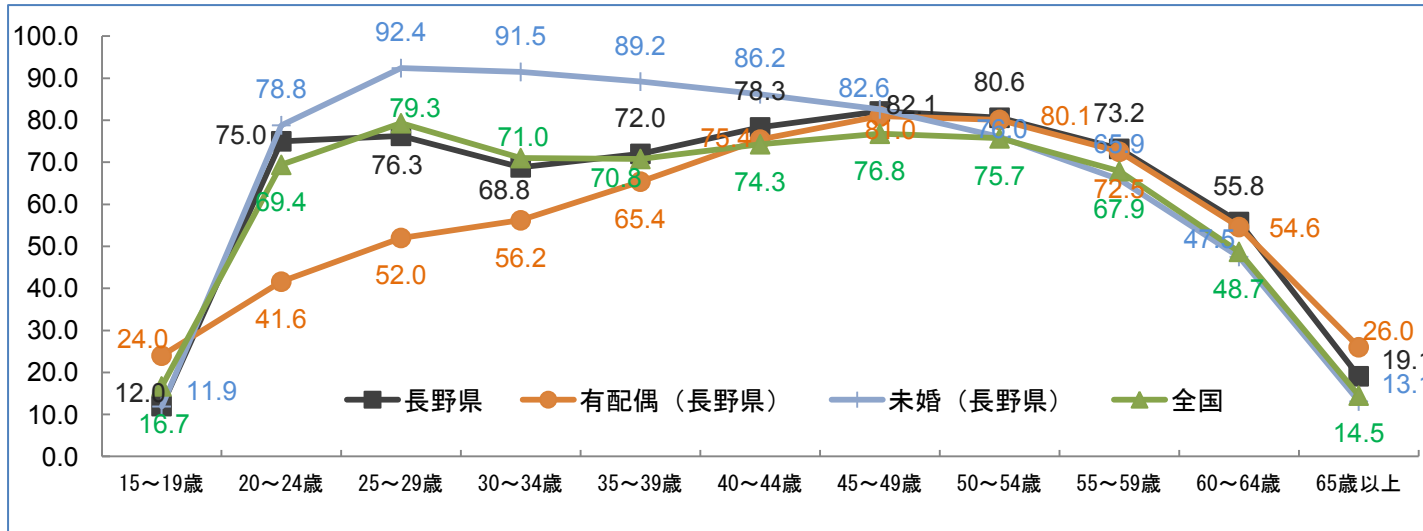
長野県資料

平成28年12月14日

長野県県民文化部人権・男女共同参画課

女性の年齢階級別労働力率

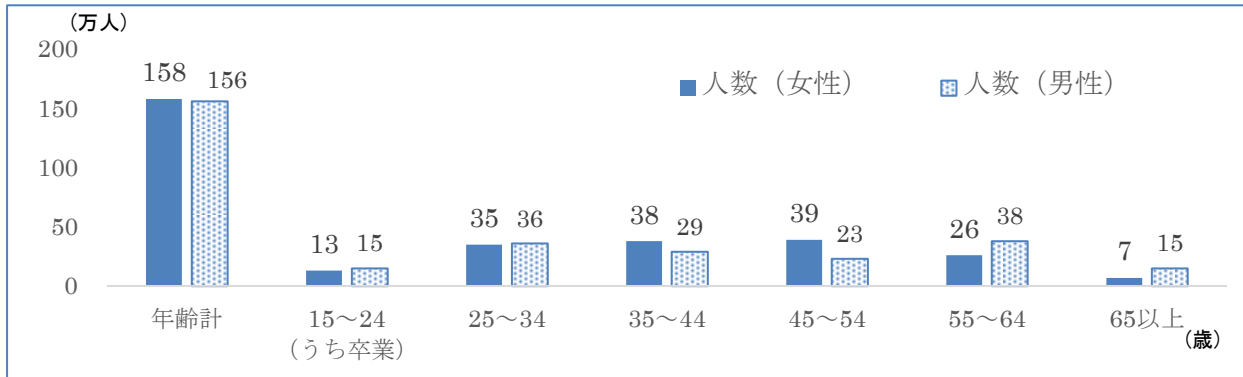
○女性の年齢階級別労働力率（配偶関係別）【長野県、全国】



・長野県では雇用されている女性のうち30歳代では50.8%、40歳代では60.6%がパートやアルバイトなどの非正規雇用となっている。

1. 全国数値については「平成26年労働力調査」より作成。
2. 長野県数値については「平成22年国勢調査」より作成。

○非正規雇用者のうち、現職の雇用形態についている主な理由が「正規の職員・従業員の仕事がないから」とする者の人数（年齢別）【全国】

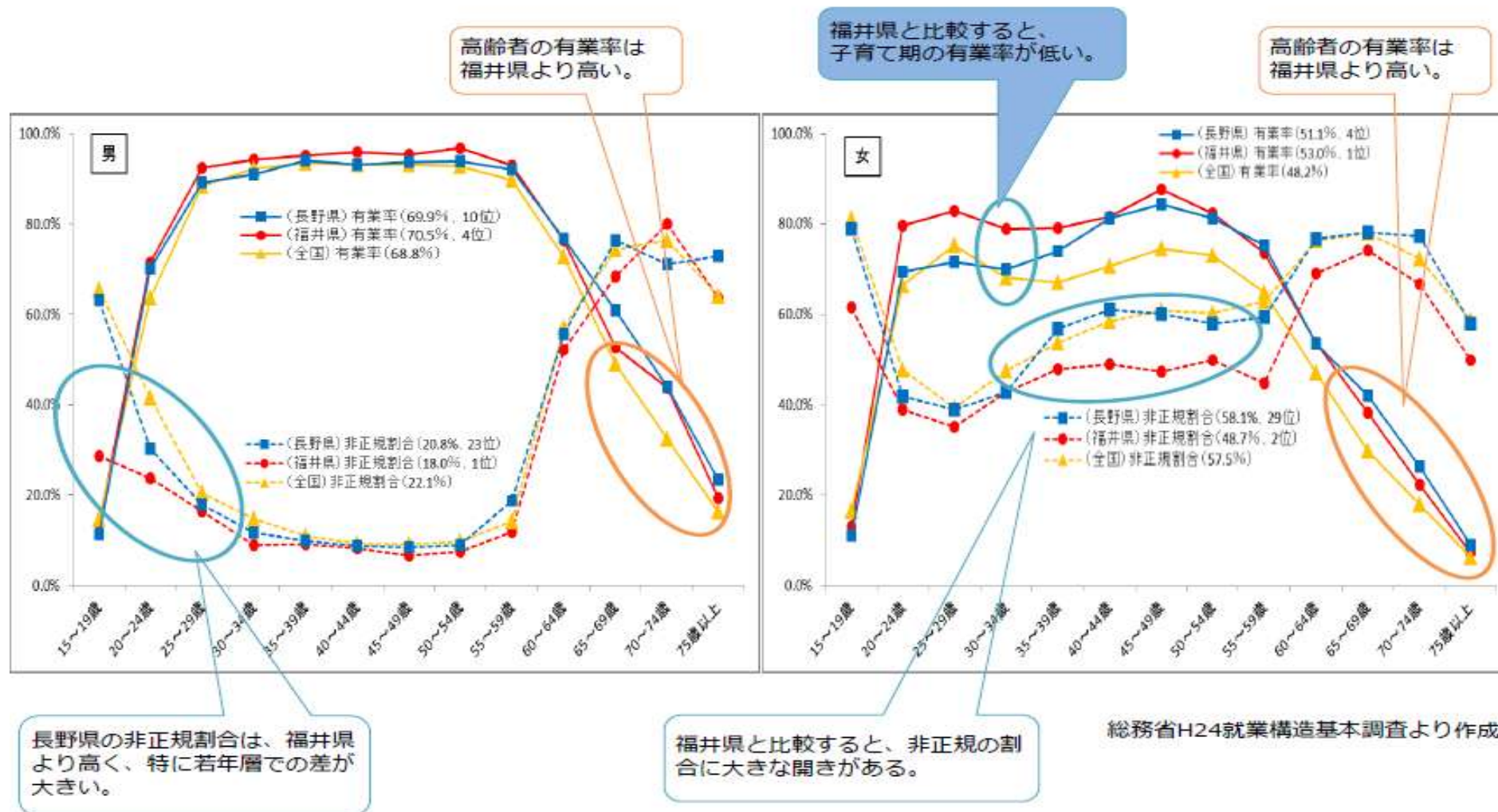


総務省「労働力調査（詳細集計）」（平成27年）より作成。

・非正規雇用者のうち、不本意に非正規の雇用形態についている者の合計は、女性が男性よりやや多い。年齢別では、35歳～54歳で女性が男性より多くなっている。

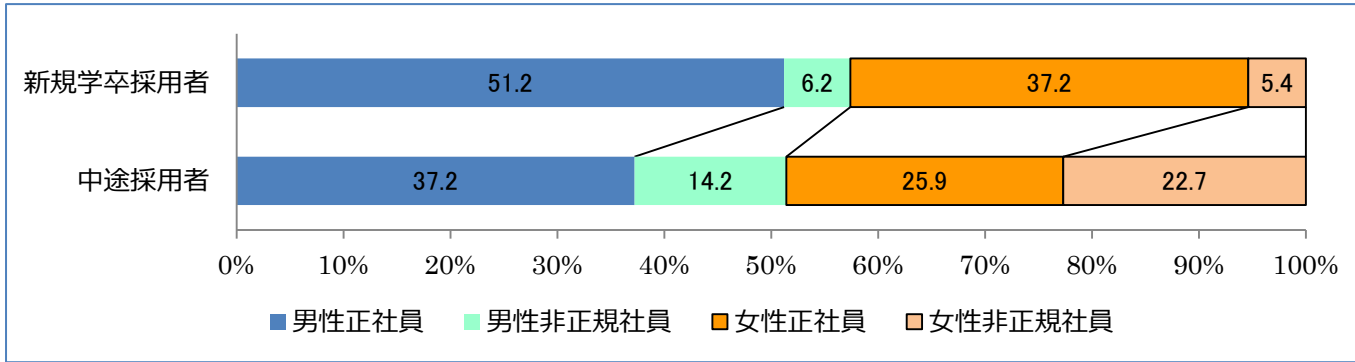
<アンケートから>
・子を持つ既婚女性がフルタイムで働くことを希望する割合が高いにもかかわらず、実際に働くことのできるケースはるかに少ない。

年代別有業率と非正規雇用の割合（長野県、福井県、全国）



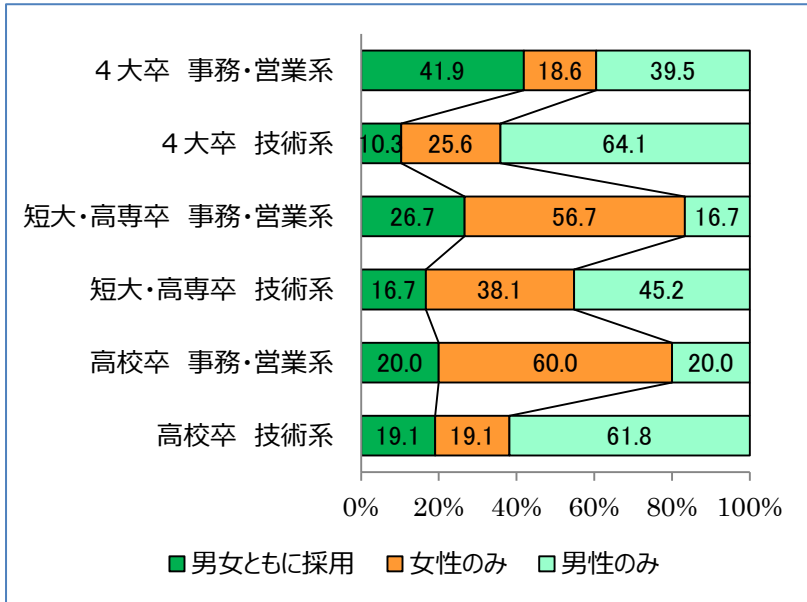
採用の状況

○新規学卒採用者及び中途採用者の採用状況【長野県】



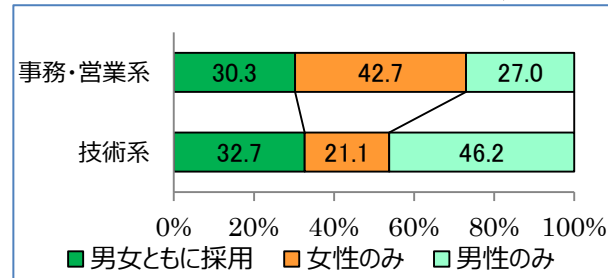
- ・新規学卒採用では男性 57.4%、女性 42.6%と男性の割合が高い。
- ・中途採用では、女性の非正規社員としての採用の割合が高くなっている。
- ・新規学卒採用者、中途採用者ともに、事務・営業系では、「女性のみ」の採用の割合が高く、技術系では「男性のみ」の採用の割合が高い。

○新規学卒採用者の採用状況（採用区別）【長野県】

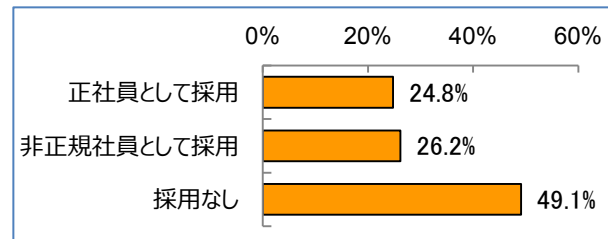


平成 26 年度長野県男女共同参画推進県民会議「女性雇用環境調査」
 (新規学卒採用者は平成 26 年春卒業業者、
 中途採用者は平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の間の中途採用者)

○中途採用者の採用状況（採用区別）【長野県】



○子育てが一段落した後に再就職する女性の採用の有無【長野県】



(中途採用者として女性を採用した企業による回答)

<アンケートから>

- ・建設業協会アンケート結果(回答率 76%)より、最近1年間で女性職員を採用した社 20.4%、採用総数 124 名(技術者 18.5%、技能者 5.9%、事務職 75.6%)、「昨年9月より女性従業員が増加した」11.7%、「減少した」2.9%、「増減なし」85.3%
- ・特に自然科学系分野の女性教員が少ない。

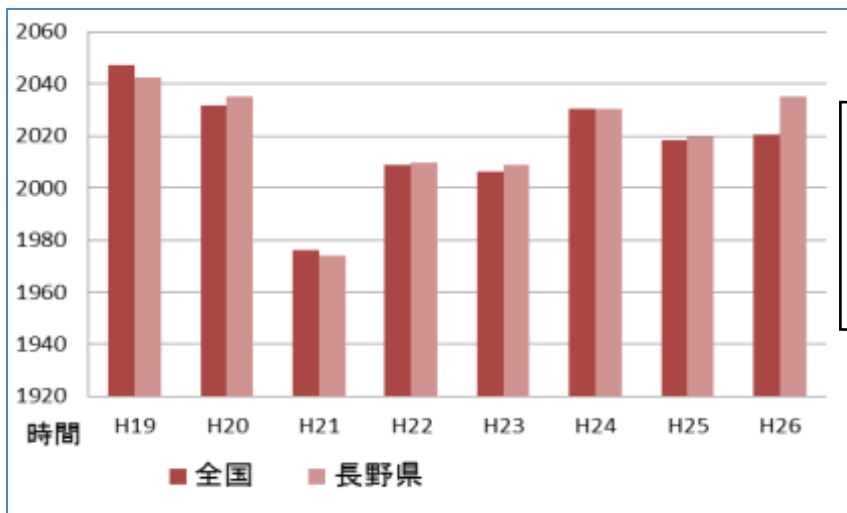
<課題>

- ・女性は、若年期から子育て期の有業率が低い。
- ・女性は、特に中途採用や子育て期において非正規社員としての就労が多い。

平均年間総実労働時間の推移、1日当たり家事育児介護関連時間

○年間総実労働時間の推移

(パートタイム労働者を除く)【長野県、全国】



・長野県の労働時間は、全国平均より長くなっている。

資料：「毎月勤労統計調査」長野県情報政策課統計室

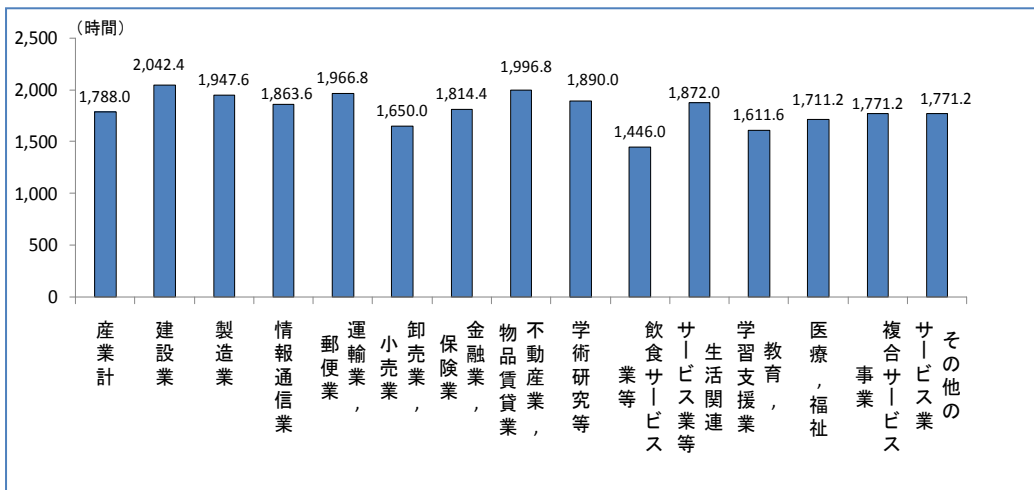
○週60時間以上働く人の割合【長野県、全国】

		全有業者	30～40歳代
男性	全国	14.2%	17.8%
	長野県	12.7%	15.9%
女性	全国	4.3%	3.4%
	長野県	4.0%	3.3%

資料：「H24 就業構造基本調査」総務省統計局

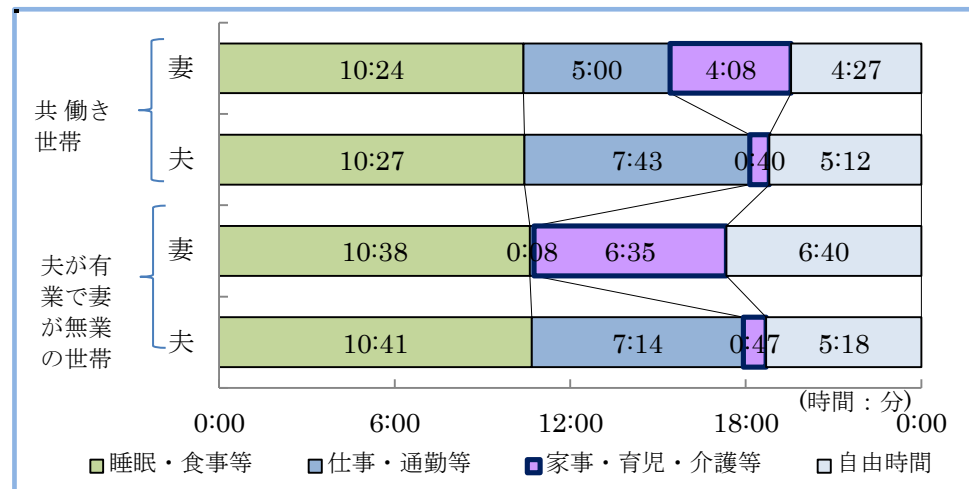
・週60時間以上働く子育て世代の男性の割合は高くなっている。

○産業別平均年間総実労働時間 (パートタイム労働者を含む)【長野県】



1. 県情報政策課統計室「平成26年長野県の賃金・労働時間及び雇用の動き」より。
2. 県内の5人以上規模の事業所で働く常用労働者(パートタイム労働者を含む)の平均値。

○1日あたり家事・育児・介護関連時間【長野県】



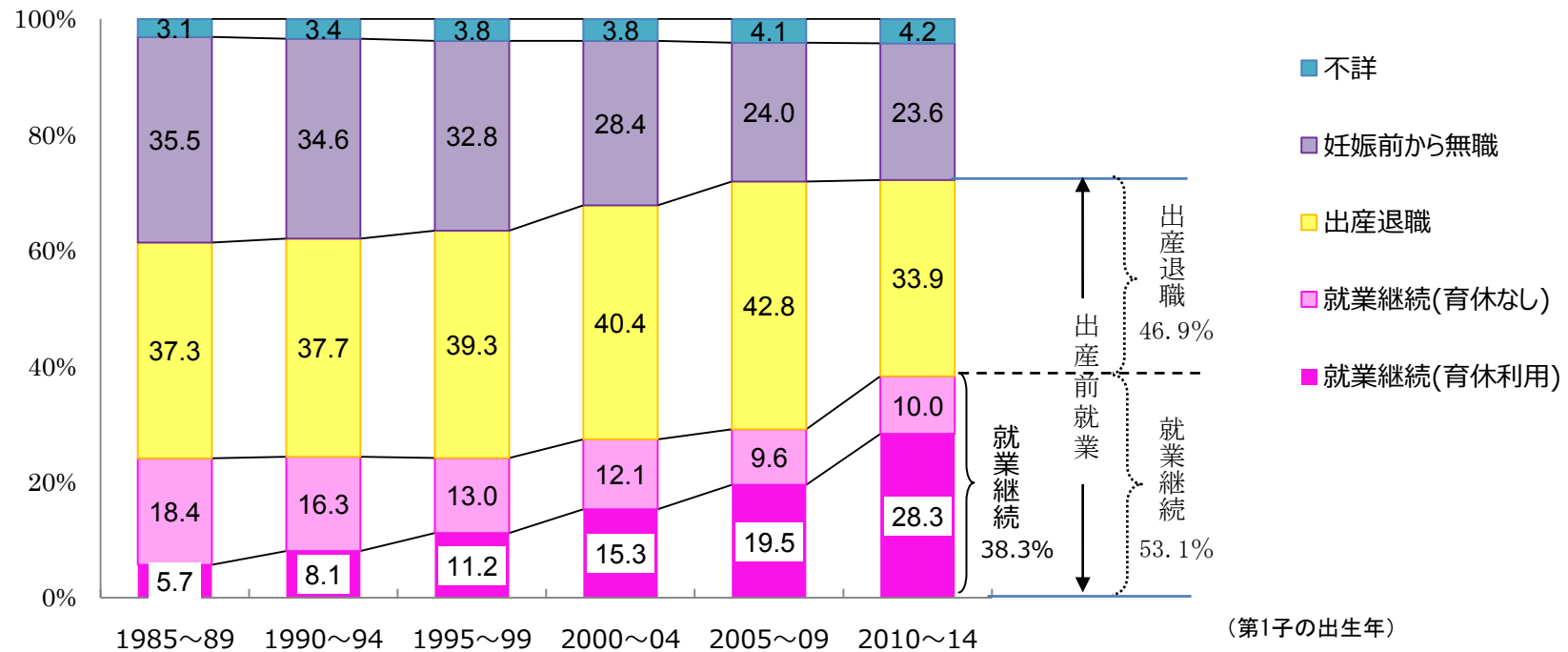
平成23年総務省「社会生活基本調査」

・男性が家事・育児・介護等に関わる時間は、共働き世帯かどうかに関わらず非常に短い。

第1子出産前後の女性の継続就業率

- ・妊娠前の妻の就業率が7割超で推移するなか、育児休業を取得して就業を継続している割合は増えているが、第1子出産を機に離職する女性の割合は依然として高い状況にある。

○第1子出産前後での就業状況【全国】

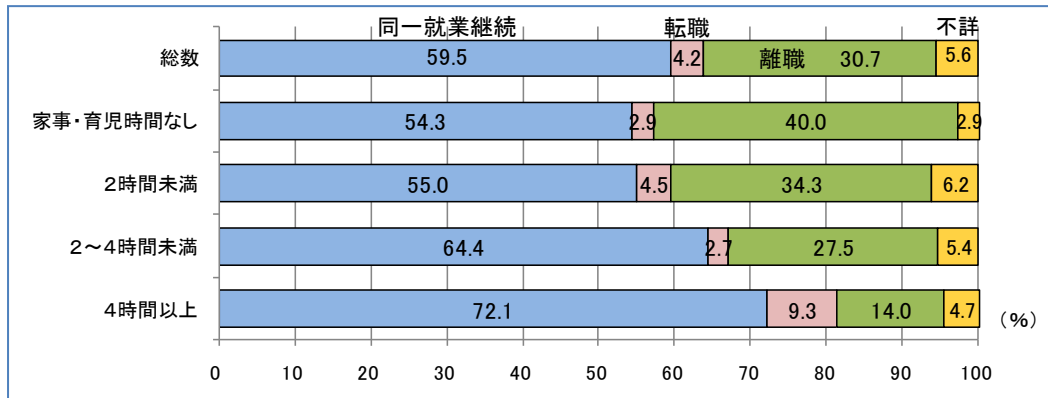


夫の家事・育児時間と妻の就業継続状況、第2子以降の出生の状況

- ・妻の出産後の夫の平日の家事・育児時間が多いほど妻の就業継続の割合が高い。
- ・夫の休日の家事・育児時間が多いほど第2子以降の出生割合が高い。

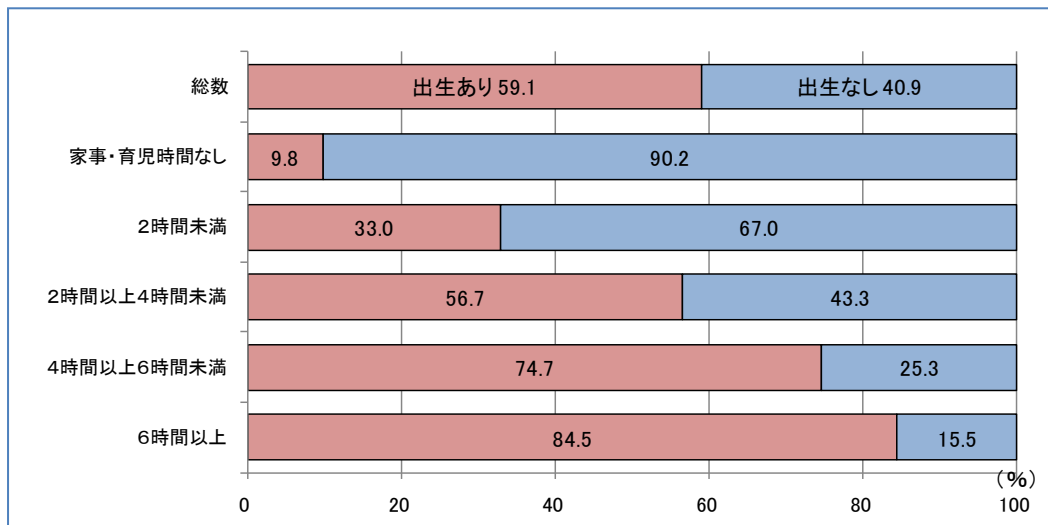
「仕事と生活の調和レポート 2015（内閣府）」

○夫の家事・育児時間（平日）別出産後の妻の就業継続状況【全国】



1. 厚生労働省「第13回21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）の概況」（調査年月：2014年11月）より作成。
2. 集計対象は、以下の①又は②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。
 - ①第1回調査から第13回調査まで双方が回答した夫婦
 - ②第1回調査時に独身で第12回調査までの間に結婚し、結婚後第13回調査まで双方が回答した夫婦
 - ③妻が出産前に仕事ありで、かつ、「女性票」の対象者で、この12年間に子どもが生まれた夫婦
3. 12年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
4. 家事・育児時間の「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。

○子供がいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの12年間の第2子以降の出生の状況



1. 厚生労働省「第13回21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」（調査年月：2014年11月）より作成。
2. 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の出生前データが得られていない夫婦は除く。
 - ①第1回調査から第13回調査まで双方が回答した夫婦
 - ②第1回調査時に独身で第12回調査までの間に結婚し、結婚後第13回調査まで双方が回答した夫婦
 - ③出生前調査時に子どもが1人以上いる夫婦
3. 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第12回調査時の状況である。
4. 12年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
5. 「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。